

事業シート2

課コード: 003101000
 担当組織: 消防総務課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 小杉 正則

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 06	01	0152	01	015202

款	項	目	事項
予算コード 41	01	01	31

款	項	目	事項
41	01	01	

事業名: 消防音楽隊活動事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	2,223	2,223	0		0.4	0.4	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	680						1,543

事業の目的

消防音楽隊の演奏活動を通じて、防火・防災思想の普及を図る。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

- ・派遣演奏の対象とする行事等
 - 1 消防の諸式典及び行事
 - 2 浜松市が主催する式典又は行事
 - 3 公共団体からの要請で、消防広報に効果があると認められるもの
 - 4 その他消防長が必要と認めるもの
- ・主な派遣予定行事
 - 1 消防の行事
各消防署が主催する119ふれあいフェア、消防出初式、消防音楽隊定期演奏会
 - 2 浜松市の行事
浜松市戦没者追悼平和記念式等の式典、小中学校音楽鑑賞会
 - 3 公共団体の行事
浜松まつりや天竜産業まつり、プロムナードコンサート
 - 4 その他の行事
自治会連合会祝寿、保育士会
- ・音楽隊員数:31人(消防職員:21人、非常勤職員:10人)
- ・目標派遣演奏回数:40回

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- ・派遣行事の種別毎回数
 - 1 消防の行事:7回
 - 2 浜松市の行事:16回
 - 3 公共団体の行事:10回
 - 4 その他の行事:6回
- ・主な派遣行事
 - 1 消防の行事
消防フェアin浜北、119ふれあいナカフェス、消防出初式、消防音楽隊第16回定期演奏会
 - 2 浜松市の行事
浜松市戦没者追悼平和記念式、三遠南信道開通式、新東名開通イベント
 - 3 公共団体の行事
東北関東大震災チャリティプレリグコンサート、天竜産業まつり、プロムナードコンサート
 - 4 その他の行事
安全・安心まちづくり隊出陣式、自治会連合会祝寿、保育士会
- ・音楽隊員数:35人(消防職員:23人、非常勤職員:12人)
- ・派遣演奏回数:39回(132,870人)

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 45 年	年	自治事務	浜松市消防音楽隊規程					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計								
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	3,424	2,223	2,223	2,223	2,223	8,892
	決算	2,954	2,079				2,079
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	2,954	2,079	2,223	2,223	2,223	8,748
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	12,800
内訳	人工(正規)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
	人工(非常勤)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		6,154	5,279	5,423	5,423	5,423	21,548

成果指標1 派遣演奏回数		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	回	40	40	40	40	40
	実績	回	34	39			

成果指標2		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類							
	目標						
	実績						

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

- ・年間派遣演奏回数:39回(132,870人)
- ・消防広報の実施状況(39回中35回の派遣演奏で実施した)
 - 住宅用火災警報器の普及啓発:3回
 - 大規模災害に備えて(東日本大震災活動状況等):3回
 - 火事の恐ろしさ:5回
 - 119番の適正利用:3回
 - 消火器の使い方:3回
 - 熱中症対策:1回
 - 消防クイズ:3回
 - 防火服の早着替え:3回
 - 火災予防週間等:11回

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

消防音楽隊の集客力は、多くの市民に消防広報を行うことができる。廃止した場合、このような有効な広報手段が無くなる。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

「音楽の都・浜松」を代表する公設音楽隊が無くなるとともに、肌理細やかな消防広報が出来なくなる。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

様々な要請や依頼に的確に応えつつ、市政並びに消防行政に関する広報を充実させるため。

(4) 改善: 改善なし

(理由)

今後の方向性 現状

今後も、「音楽の都・浜松」の公設音楽隊として、また、県下初の消防音楽隊として、消防の式典・行事をはじめ、市政全般にわたる式典やPR活動等で演奏を通じて、防火・防災思想の普及を図っていく。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

- ・年齢や催しの内容に応じた演目の選曲による集客力の向上。
- ・寸劇や防火衣の早着替え等市民が消防に興味を持てるよう広報活動を検討した。
- ・市制100周年や東日本大震災等の時事に関する情報を積極的に広報した。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

幅広い市民に対し広報効果が発揮できるよう、時事情報及び部内調整を図る。

依頼先の意向に基づいた中で他業務に支障が出ないよう、一層の技術の向上と隊員負担の軽減を図っていく。